

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白平 博文



■ 「女性の日」が近づきました

山口県では、10月は男女共同参画推進月間です。これに合わせて本市では、10月1日を「女性の日」と定め、日ごろ裏方役を引き受けることの多い女性に感謝するとともに、男女共同参画社会をさらに発展させる契機にしたいと願っています。ただし当日は平日のため、翌2日(土)に記念行事を市民館文化ホール(中央図書館の横)で開くことにしました。アトラクションなどのあと、武川恵子さんが「北京+15とこれからの男女共同参画」と題し記念講演を引き受けてくれました。武川さんは、男女共同参画担当の内閣府大臣官房審議官です。「北京」とは「第4回世界女性会議 北京宣言」(国連創設50周年に当たる1995年9月)のことで、「女性の地位は過去10年間にいくつかの重要な点で進歩したが、その進歩は不均衡で、女性と男性との間の不平等は依然として存在し、主要な障害が残っている」などとして、世界中の女性の地位の向上とエンパワーメント(力をつけること)を誓い合い、これを全世界に訴えました。「女性の日」にふさわしい本格的な講演が聴けるのを楽しみにしています。

県下の関係団体にも案内状を出しました。市民のみなさんもぜひご出席ください。

■ 自主防災組織にご協力ください

9月1日は防災の日です。今年は、自治連が防災講演会を企画され、山陽小野田市在住の瀧本浩一先生(山口大学)が「地域防災とまち

づくり～自然災害にそなえて～」のテーマで講演をされました。私たちは7月15日に厚狭の大水害を経験しているだけに市民の関心は高く、市民館文化ホールはほぼ満席でした。瀧本先生は学者であると同時に防災のスペシャリストで、全国を講演や研修会などで飛び回っておられます。「今住んでいる地域でどんな災害が起こるのか」「地域にはどんな備えが必要なのか」を、地域を“面”でとらえ、あるいは“時間”で考えながらの大変分かりやすいお話でした。先生が会場のみなさんに、ぜひにと勧められたのが地域ごとの自主防災組織の立ち上げでした。防災は、自分や家族を守ること(自助)が第1ですが、地域で助け合うこと(共助)も大切で、これに行政が災害の予防や対応をすること(公助)により、災害を予防でき、被害も最小限に食い止めることができます。この共助の取組みが自主防災組織です。できれば自治会に一つか二つ。市役所の担当職員が説明に参りますので、どうぞ出前講座の方もご利用ください。

瀧本先生は地域防災は、地域のまちづくりであることを強調されていました。みんなで防災活動をすれば、地域が活性化する…。確かにそうだと私は考えましたが、みなさんはいかがでしょう。

対話の日

9月30日(木) 19:00～
南竜王町自治会館